

## オオムギ赤かび病の適期防除を！

赤かび粒は、0.0%を超えて(1,000粒中に5粒)混入すると規格外になります。赤かび病はムギの開花期頃に高温多雨で多発し、本年4月の気温は平年並~高い予想で、注意が必要です。春先からの高温で生育が早まっているため、出穂・開花状況を確認しましょう。

### 1 防除時期

**1回目は出穂5日後の開花始期**  
**2回目は1回目の10日後**  
**必ず2回防除を行いましょう**

- ムギの開花状況をこまめに確認し、防除が遅れないようにする
- 液剤のほうが粉剤より効果が高くなる。粉剤は朝露で穂が湿っている早朝に散布すると効果が高い
- 液剤の散布量は地上散布（希釈倍率1000倍〜）の場合100ℓ/10a以上（〜150ℓ/10a）散布する
- 薬剤耐性菌の発生を防ぐため、1回目と2回目の薬剤を変える



### 2 防除薬剤

薬剤名（RACコード）	作物名	希釈倍数	使用量	使用時期	使用回数	使用方法
トップジンM粉剤DL（1）	麦類（小麦を除く）	1,000~1,500倍	4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
トップジンM水和剤（1）			60~150L/10a	収穫30日前まで	（出穂期以降は1回以内）	散布
トップジンMゾル（1）			0.8L/10a	収穫21日前まで		無人航空機による散布※
トリフミン水和剤（3）	麦類	1,000~2,000倍	60~150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
ストロビーフロアブル（11）	麦類（小麦を除く）	2,000~3,000倍	60~150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
チルト乳剤25（3）	大麦	1,000~2,000倍	60~150L/10a	収穫21日前まで	1回	散布
		無人ヘリ8倍	800mL/10a			無人航空機による散布※
ワークアップ粉剤DL（3）	麦類	無人ヘリ10~24倍	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布
ワークアップフロアブル（3）			0.8L/10a			無人航空機による散布※
シルバキュアフロアブル（3）	大麦	2,000倍	60~150L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布
		無人ヘリ16倍	0.8L/10a			無人航空機による散布※
ミラビスフロアブル（7）	大麦	1,500~2,000倍	60~150L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布
		無人ヘリ8~16倍	800mL/10a			無人航空機による散布※

※ 無人航空機とは無人ヘリおよびドローンのことを指します

令和5年度農作物病害虫防除指針（福井県）が県HPから閲覧できます

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/021033/shokuryouanzen/boujoshishin.html>

◇◇◇ 最新の農薬登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室 連絡先 0776(54)5100

福井県病害虫防除室 🔍 検索

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo.html>  
QRコードをスキャンしてください →



農薬の飛散に注意しましょう

農薬の安全使用に努めて適期防除しよう